

第2章 まちの将来像



1 まちづくりの基本理念

「基本理念」は、我々が王寺町でまちづくりを行っていくうえで最も大切にしていきたい考え方です。まちの課題の解決にあたり、すべての分野に共通する考え方として、また、まちの魅力や地域資源を最大限に活用していくため、以下の3点をまちづくりの基本理念とします。

(1) 「つながり」を感じられるまちづくり

「自助」「共助」「公助」の考え方に基づく、「協働」のまちづくりによる地域内外や世代間の人のつながり、通勤・通学などによる都市部とのつながりなど、さまざまな「まちのつながり」を生み出し、発展させることで、あらゆる分野・資源がつながるまちづくりを行います。

(2) 「愛着・誇り」を持てるまちづくり

まちづくりの主人公は住民のみなさんです。すべての人の人権が守られ、すべての人を尊重し、さまざまな人とのつながりを大切にしながら、自らがまちづくりに参加することで、自らの存在意義の確認や自己実現を通じてまちに「愛着・誇り」を持ち、喜びや幸せを感じられるまちづくりを行います。

(3) 「くらし満足度」県内トップのまちづくり

王寺町は恵まれた立地環境のもと、都市部への移動がしやすいまち、都市部から訪れやすいまちとして、JR王寺駅を中心に西和地区の中核として発展してきました。今後さらに、子育て、教育、防災・防犯、健康・福祉、観光・にぎわいなどの分野において地域特性を生かしたまちづくりを推進し、県内トップの「くらし満足度」を感じられるまちづくりを行います。



2 まちの将来像

「まちの将来像」は住民と行政が長期的な視点でまちづくりを進めていくうえで、共有するまちのイメージを示したものです。今後、王寺町がまちづくりを進めるうえで、目指すべき王寺町の姿を次のとおり定めます。

まちの将来像

人とまちがきらめく和（やわらぎ）のふるさと 王寺

～豊かな自然のなか みんなでつくる 心つながるまち～